

国民いじめ、
地方政治切り捨て
だから

もっと

くらしを守る市政の役割発揮を

国の政治による老年者控除や定率減税の廃止、国保税・介護保険料の負担増に加え、昨年の暮れからは、灯油や食料品の値上げなど、市民生活は苦しくなっています。その上、4月からは、75歳以上の方から新たな医療保険料の徴収が始まるうとしています。「明るい会」は、松本市長選を前に「すげのや昭」氏を支援し「私たちが願う松本市政」を発表しました。ご意見をお寄せください。

私たちが願う松本市政 「明るい会」が「すげのや昭」氏支援を決定

市民負担の軽減

4年前、菅谷市政がスタートし、市政の流れが変わりました。一般会計から15億円繰り入れ国保税の値上げ中を半分に抑え、滞納があっても国保税を交付し、資格証明書の原則廃止、短期保険証を半減しました。介護ベットのレンタル費用の助成制度や介護認定者の障害者控除の拡大などが実現しました。

しかし、介護保険料・国保税の負担は、市民にずっしり重いものとなっています。



- 安心して介護が受けられるよう、介護保険料・国保税の引き下げや減免制度、市独自の補助の充実
- 特養のホテル「コスト・食費の自己負担」に対する市としての独自減免
- 後期高齢者医療制度の保険料、自己負担分の軽減

障がいのある人も人間らしく生きられるまち

「障害者施設を退所して地域で生活したい」「精神科病院を退院して安心して生活できるようにしたい」

障がい者が住みなれた地域で自分らしく暮らすためにはグループホームなどの住む所や、働いたり交流する場などの整備が求められます。松本市はまだまだ地域生活を支える社会的条件が足りません。



- 障害者自立支援法による利用者負担の市独自軽減策の実施
- 早期療育システム、発達障害児療育などを推進する療育センターの設置
- 市の遊休施設などの活用によるグループホームの整備

命を守る姿勢を感じました
リストラで保険料も払えず、保険証を返還しました。そうしたら「保険証は持っていてください。いつ病気になるかわかりません。収入が得られるようになってから一ヶ月ずつでもいいですから」と市の職員が保険証を自宅に届けてくれました。命を守る姿勢を感じました。
(男性 60歳)

安心して産み育てられる環境

子どもの夜間救急体制（小児科・内科夜間急病センター）ができ、子どもの医療費無料化は就学前まで所得制限がなくなりました。保育料が引き下げられ、30人学級が小学校6年生まで拡大し、青年の居場所・スケボー場もできました。困難をかかえた子どもたちのために教員を増やしました。

「いじめなど幸せに育てられるか心配です」「病児保育がないので、朝5時起きして、子どもをばあちゃんに預けた」。もっと子育ての悩み、不安にこたえる環境が必要です。



- 5回まで無料となる妊産婦検診の充実
- 産科・小児科問題の緊急対策
- 病児保育の導入
- 保育園の民間委託はしない。正規職員の増員
- 子どもの医療費の窓口での無料化を小学校卒業まで

安心してくださる 「市民が主人公」のまちづくり

くらしを支える制度の充実

生活保護や福祉は私たちの最後の命綱です。暮らしを支える制度は生活保護だけでなく生活資金の貸付、低家賃住宅の保障、就学援助など、もっと充実していれば安心です。

生活に困って福祉の窓口相談に行ったとき、とてもつらい目に合いました。窓口では人としての尊厳を守り、安心して相談できるようにしてほしいと願っています。(40代女性)

■必要な人には生活保護を

■プライバシーを守れる相談室の設置を

■高齢者・低所得者が安心して生活できる家賃補助と市営住宅の建替え、改良

■多重債務者への救済

住民参加の「まちづくり」

予算の編成過程を市民に公開し、パブリックコメントの導入、市民の意見を広く集約するとりくみなど市政への市民参加がすすみました。町会の役割を踏まえた「市民と行政の協働推進のための基本指針」が策定され、市民と団体、行政が、それぞれの役割を分担する協働のとりくみもすすみました。

こうした経験を生かし、約80億円の事業といわれる松本城のお堀復元・道路拡幅事業や中部縦貫道などは、今の市民生活の実態も含め十分検討し、市民の合意が必要です。



■安易に民間委託や指定管理にせず、くらしに直結することは、行政が直接責任を負う

■NPO活動を支援し、協働の取り組みをすすめる

■バス、タクシー会社と連携をつよめ、市民のための公共交通手段の確保

■高齢者・障がい者など交通弱者への交通手段の確保

■合併地域のくらしと文化伝統を守り、合併しよめがしたくらしを地域のくらしに

■市民芸術館の管理運営の見直し

「明るいまちづくり」を意見をお寄せください

循環型社会

環境にやさしい松本市

地球温暖化を防ぐという気運が大きな高まりをみせています。徹底したゴミの分別で資源のリサイクルの促進。太陽光発電や水力・バイオマスなど松本に豊富にある再生可能な自然エネルギーの有効活用が求められます。



■ゴミの焼却から3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進、紙類やプラスチック類のさらなる再資源化

■温室効果ガス削減など地球温暖化対策の総合的かつ計画的な推進

地域経済の発展

大型公共事業中心から、市民に身近で役に立つ公共事業への切り替えがすすみ、参加希望型の入札で地元業者への仕事を確保、市の借金を4年連続減らしています。

貧困と格差がいつそうの広がりを見せています。安定した雇用とくらしが欠かせません。



■中小工業者と家族農業を応援し、仕事と雇用を増やす

■さまざまな産業との連携、幅広い観光資源の活用で観光都市松本をきずく

■ものづくりは、地場産業と連携を図り、販路の拡大を支援

■誘致企業への地元雇用の拡大

